

**旧市立浜風幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園  
設置運営事業者辞退に関する説明会の開催について（1日目）**

日 時	平成28年7月5日（火） 19:00～20:20
場 所	浜風集会所 洋室A
出 席 者	こども・健康部長 三井 幸裕 こども・健康部主幹（新制度推進担当課長） 和泉 みどり こども・健康部子育て推進課長 伊藤 浩一
司 会	こども・健康部子育て推進課施設整備係長 田中 孝之
事 務 局	こども・健康部子育て推進課
参 加 者 数	51人

1 次第

- (1) 開会
- (2) 説明
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

2 配布資料

当日配布資料

3 議事録

（司 会） 皆様、こんばんは。

それでは、定刻となりましたので、只今より「旧市立浜風幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園設置運営事業者辞退に関する説明会」を開催させていただきます。

本日はご家庭の用事やお仕事でお疲れの所、また、急な開催にも関わらずご出席いただきましてありがとうございます。

本日司会をつとめさせていただきます芦屋市こども・健康部子育て推進課の田中と申します。

本日議事録を作成するため、レコーダーにて録音をさせていただいておりますので、あらかじめご容赦ください。また、議事録につきましては、まとめり次第、参加者のお名前は伏せたスタイルでホームページに掲載を予定しております。なお、本日テレビ取材が入っておりますが、撮影は後ろから、また皆様のお顔が映らないようなご配慮を依頼しておりますことをお知らせさせていただきます。

それでは、次第1番の「開会」にあたり、出席者の紹介をさせていただきます。

きます。こども・健康部長の三井幸裕です。次に、こども・健康部主幹新制度推進担当の和泉みどりです。次に、こども・健康部子育て推進課長の伊藤浩一です。

それでは、こども・健康部長三井から次第の2番の「説明」をさせていただきます。

(部長) 本日はお忙しい中、また、急な日程にも関わらず、旧浜風幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園設置運営事業者辞退に関する説明会にお集まりいただきましてありがとうございます。

設置運営事業者であります「社会福祉法人夢工房」より、平成28年6月24日付で辞退届の提出があり、市はこれを受理、承認いたしました。辞退に至った経過、今後の予定等につきましてご説明させていただきます。

認定こども園の整備にあたり、ご理解、ご協力いただきました浜風幼稚園保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、来年4月の開園を心待ちにされていた保護者の皆様には、ご心配、ご迷惑をお掛けし大変申し訳なく、お詫びを申し上げます。

平成28年6月9日(木)の朝刊で、「同法人で運営費約3千万円が不正流用された疑いがある。姫路市内の保育園等で理事長の親族の架空勤務や親族の自宅の家具や電気製品を運営費で購入した疑いがある。」旨の新聞報道がありました。

同法人は法人所在地が東芦屋町にある法人で、本市では「山手夢保育園」「浜風夢保育園」「夢咲保育園」の3保育園をはじめ全国で21園の施設を有し、その他、特別養護老人ホーム等の高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人です。同法人の場合、法人監査は兵庫県の所管となり、各認可保育所に対する定期監査も兵庫県の所管となりますが、姫路市のような中核市は市が定期監査を所管することになります。

この度の「不正経理疑惑」は、姫路市の定期監査、姫路市・兵庫県の特別監査により「不正経理の疑いがある」ため、法人を監督する兵庫県は、法人に対して「第三者委員会を設置して調査するよう法人を指導した。」ものです。

この報道を受け、9日(木)に法人代表者である理事長を来庁させました。市としては、①法人から市に対して県からの指導について報告がないことは、報告義務が無いとしても、信頼を失う行為である。②疑うということであっても、疑われること自体が保護者や市民の信頼を失う重大事態で、到底あってはならないものだ。③運営している保育所の保護者・職員に対する対応は丁寧に安心と信頼を回復するよう取り組むこと。④開設準備中の(仮称)幼保連携型認定こども園浜風夢については、地元の方々も

平成29年4月に素晴らしい認定こども園の開園を楽しみにしている。その信頼や期待を裏切る行為である。平成29年4月の開園ができないということは絶対にあってはならないことであり、失われた信頼を少しでも取り戻すためにも、相当の覚悟をもって素晴らしい認定こども園を完成させてもらう必要がある。と強く法人の姿勢を正しました。

法人代表者である理事長からは、「保護者・市民・芦屋市からの信頼を裏切り大変申し訳ない。第三者委員会の調査、保護者・市民の信頼を取り戻せるよう真摯に取り組む。(仮称)幼保連携型認定こども園浜風夢については平成29年4月の開園を遅らせることなく、素晴らしい認定こども園を開園させる。」旨の謝罪がありました。

(仮称)幼保連携型認定こども園浜風夢は、現在、幼稚園の解体も終わり、建設工事事業者の入札が終わりましたら、7月末頃を予定していましたが、地元説明会を行い新園舎建設に取りかかろうとしていたところです。

今回のことは市民の信頼を裏切る行為であります。第三者委員会の結果を待つと大幅に工事が遅れ、平成29年4月の開園はできなくなることから、認定こども園建設工事を中断することなく進めて行きたい、市は同法人に対して施設型給付費や市単独助成費の公金を給付しているの、市から交付された公金が適正に処理されているかについて市独自の監査を行う。

以上が9日(木)の新聞報道を受けての市の考え方でございました。

新聞報道以降、認定こども園の監督・認可を行う県や同法人とも断続的に協議を行って参りました。協議のポイントは浜風町の認定こども園が新設認可を受けることができるのかどうかということ、平成29年4月に開園ができるのかということです。

協議を重ねて参りましたが、6月24日(金)付で、同法人より幼保連携型認定こども園設置運営事業者について辞退の申し出があり、同日受理いたしました。辞退の申し出を受けるにあたり、改めて同法人に対して、次のことを強く要望し確約させました。1点目として、法人が運営する市内3か所の認可保育所については、保護者からも信頼を得ていると評価しているが、今回の新聞報道は著しく市民・保護者からの信頼を損なうものであり到底許されるものではない。2点目として、第三者委員会の調査については積極的に協力し、調査の結果、また、その後の監督庁の決定には真摯に向き合い、改めるべきことは改め、保護者の信頼回復に努めること。

特に、①市内3か所の認可保育所の運営については、現在の子どもたちに寄り添い、保護者からも信頼される保育所運営を今まで以上に誠意をもって引き続き運営すること。②浜風夢保育園については、認定こども園が

開園するまでは責任を持って運営を継続すること。③市内3か所の保育園については、市から補助している補助金に関する市独自の監査を行う。この3点について強く要望いたしました。

今後の予定としまして、平成29年4月の開園を心待ちにされている住民の方、保護者の方がいらっしゃいます。我々も是非ともやりたいという思いでしたが、現時点では、平成29年4月開園は非常に難しいため、平成30年4月の開園を目指して準備を進めたいと存じます。報告事項は以上でございます。

(司 会) それでは、次第の3番「質疑応答」に移らせていただきます。質問がある方は、挙手の上、お名前をご発言の後、質問をお願いいたします。

(市 民) 昨日理事長代理より説明を聞きました。平成30年4月に次の認定こども園ができるまで浜風夢保育園へ通園している子どもの保育は責任を持って行うとおっしゃっていましたが、それは市も同じ考えですよ。そこでそのまま継続できると、市が確約しているということですね。あとは次に手を挙げるところが実際問題あるのか無いのか、無ければ延びることになります。その辺りが聞きたいところです。

(部 長) 1点は、今おられる子どもについて、もう一度保育所を探してくださいということではできません。浜風夢保育園については、今年度末で新しい認定こども園ができれば移行するというので、かなり多くの方がそれを楽しみに入園されたと聞いております。平成29年4月開園を目指したいという気持ちはありますが、平成30年4月にならざるを得ないと思っております。それまでの間、浜風夢保育園については夢工房が責任を持って運営するように伝え、法人の方も責任を持ってやりたいという意向です。ただ、できるだけ年度単位でと考えていますので、平成30年4月をもって浜風夢保育園から認定こども園に移っていただきます。

2つ目のご質問で、どこかあてがあるかということに対しては、現時点ではございません。早く探していかなければならないという気持ちで、全力を挙げてやっていきます。平成30年4月は何としてもという気持ちでやっていきますが、仮に施設の完成が2月末ぐらいだった際に、残り1か月という状況で移行してくださいというのは良くないので、その場合は平成30年4月に移っていただくというのが今の考えです。万が一、平成30年4月に認定こども園が開園できないとなった時に、保育所部分だけでもやるのかというのは、課題になります。

それから、浜風夢保育園について、来年4月の3歳児の受け入れはしたいと思っております。理由は二つあります。一つは3歳児を受け入れないとなりますと、4歳児、5歳児だけになります。元々3、4、5歳児の

保育所ですから、できるだけ多年齢の中で保育をしたいからです。もう一つは市全体の中で3歳児の行き場所というのが大きな課題となっておりますので、その定員が減るといのは問題です。そのため、次の4月は3歳児のお子さんを受け入れたいと思っております。

(市民) 平成29年4月の開園は難しいと説明いただきましたが、例えば夢工房の今の建設プランで進めて、運営だけ別法人でやっていただく、もしくは芦屋市の方で運営していただいて、平成29年4月に開園というのはいいのでしょうか。

(部長) まだ設計プランも最終確定していない中で、次の法人を探し、夢工房の設計をそのまま引き継ぐというのは現実的には難しいと思います。

次に、市が行うということについてですが、公立での実施は現在考えておりません。理由は、保育士の配置基準について芦屋市の特色を出していきたいということで、0歳以外の各年齢について配置基準を国よりも手厚くしております。現在公立に対しては、国から直接補助金が出ないので、子育てを含め、市の税金を他に使いたいということから、公立という選択肢は考えておりません。

(市民) 私は今、3歳と1歳の子どもがおり、連続で育休を取っています。4月から保育園に入りたいと考えていて、認定こども園ができるなら入れるかなと考えていたのですが、計画が中止になってしまうとなると、近くの緑保育所とか新浜保育所がありますが、2歳児の受け入れはほとんどないと聞きました。そうすると仕事の復帰の面等で困ります。芦屋市の特色は国よりも良い基準で豊かな保育というのは分かるのですが、実際行き場のない子どもたちへの対応はどのように考えておられるのでしょうか。

(部長) 浜風夢保育園については現在小学校をお借りして、入所待ち児童解消のため平成17年から運営しています。今回浜風幼稚園跡地を認定こども園として整備するにあたり、入所待ち児童がいるということで、公募開始時点ではしばらくの間は両方運営したかったのですが、いずれ浜風夢保育園については小学校に返すことを考えると、認定こども園の開園と同時に閉園ということとしたものです。これから施設を作るとなると相当時間がかかりますので、大変申し訳ございませんが、浜風夢保育園については引き続き運営していただくということが現在の市の考えです。

(市民) 今のお母さんの質問に三井さんは答えていないと思います。

今回3つの問題があると思いますが、1つは、芦屋にあります山手夢を含む市内の3つの保育園で引き続き保護者が安心して保育できるようにしてもらおう。2つ目は平成29年4月予定だったものができなくなり、どうやって予定通り実現させるのかという中で、例えば今から公募するので

はなくて、芦屋市が例外的に公立で認定こども園を作ることです。伊丹市は1園だけ公立の認定こども園があります。市内の全てで認定こども園を公立でとは言いませんが、浜風については異常事態なわけですから、やはり市が思い切った措置をしなければいけないと思います。3つ目は非常に大事だと思いますが、浜風夢保育園は当然引き続き保育を行うというのですが、どうしても受け入れられない方をどうするかという具体的な案を今日提起すべきではないでしょうか。例えば、あまり良い方法ではありませんが、定員オーバーして子どもさんを入れている中で、私立保育園の定員オーバーに比べて公立保育所の方がまだオーバーの数が少ないと聞いております。もちろん事故があったらいけませんので、保育士を増やすとか色々あると思いますが、少しずつ公立保育所の定員をオーバーして来年4月は受け入れするといった臨時的な対応をしなければ今日集まった方は何とも言えないと思います。緊急的な措置を市が考えなければいけません。更地に作るというのではなく、今回は市立浜風幼稚園があったにも関わらず、12000筆の反対の署名があった中、市がつぶしたのです。ものすごく責任があります。山中市長が今日ここへ来て謝罪すべきだと思われるような事態です。いずれにしても具体的な案を出してください。平成29年4月1日が無理なら、年度途中でも受け入れる等、柔軟な対応をお願いします。

(部長) 円滑化という形で、定員を超えて行っていますが、できるだけやりたくないと考えております。円滑化と言っても子ども一人当たりの面積が緩和されるわけでもないですし、職員の配置の数もあるからです。しかし現在131名の方が保育所に入れられないという状態なので、可能な限り円滑化は行っております。公立でも子どもの安全を確保して、すでに円滑化が行われている状態です。

もう1点、次の法人をどうするのかは、例えば昨年2法人の応募があって、どちらも素晴らしい法人と認識しておりますので、もう一方の法人に声掛けをしてできるのかということがあります。これは市だけが決めるのではなくて、具体的なことは選定委員会で選定基準についても協議いただいて承認いただくこととなります。一番早い方法を考えていますが、仮に昨年のもう一方の法人がいいですよとっていただいたとしても、今からプランニングということになりますと、1年以上かかると思います。

(市民) 私立保育園と公立保育所の円滑化はそれぞれ何%ですか。

(部長) 一律ではありませんが、私立は120%、公立は110%を上限として行っています。それも施設によって異なり、安全を考えながらということになります。

- (市民) 公立保育所で私立保育園並みの120%というのは無理ですか。
- (部長) さらに精査していく必要があると思いますが、安全を考えると、現段階では今行っている円滑化が目一杯かと思います。
- (市民) 浜風幼稚園の廃園反対の運動に感激してお母さんたちの運動を応援してきました。夢工房に芦屋市は迷惑を掛けられているわけです。それなのに夢工房の立場でおっしゃっているような気がします。ここにきて不正があったことを隠していたということについて、同じ責任を市も持っていると思います。それなのに「できない」、「考えていない」、そんなことではないのですか。公立幼稚園で3歳児も受け入れたら、人に対する手当ての問題だけで場所はあるじゃないですか。それくらいの責任を取ってやるべきです。「できません」とか「考えていません」とかそんな返答はないと思います。
- (部長) 決して夢工房を庇っているということはありません。しかし、現在市内の3か所で夢工房が運営されておりますが、ここにつきましては職員の方はきちっとやっていただいていますし、汗をかいてやっていただいていることに対しては信頼しております。現在運営している保育所に対しては信頼していますが、今回の件について庇う気は全くございません。ただ、感情的にならず冷静に考えなくてはなりませんし、できないことをできるということは失礼だと思っております。
- (市民) 昨日浜風夢保育園の保護者会がありまして、たくさんのお母さんたちの中で、認定こども園になるから入園させたという意見も多くありました。とても残念に思っておりまして、うちの息子も毎日工事をしていた光景を見て、ある日突然工事がされなくなり、今寂しい思いをしております。
- 質問ですが、何故芦屋市では、夢工房や蓮美幼児学園やこぼとが複数園あり、同じ事業者ばかりで私立保育園があるのでしょうか。
- (部長) 夢工房については3園あります。浜風夢、山手夢は入所待ち児童解消のために2か所一括で公募して決めました。平成17年10月に先に浜風夢保育園が小学校をお借りして開設するというので先行はしましたが、公募は同時です。当初は3年間の限定的なものでしたが、入所待ち児童が解消しないということで現在に至っています。今回の(仮称)幼保連携型認定こども園浜風夢につきましても公募の中で選考されたものです。それ以外の私立保育園につきましても法人がご自身で場所や土地を探され、手続きを踏まれてやっています。入所待ち児童がいる状況の中で有難いことに、こぼとぽっぽで2つ目の施設を作っていただきましたし、蓮美幼児学園につきましても小規模を含め3か所やっただいております。決して市の方で数を制限するというようなことはしておりません。

(市民) 夢工房では3歳児から制服を着る事になっていまして、制服や体操服等指定の用品がたくさんあります。また習い事として月謝を支払えば課外活動とかECCとか英語等がありますが、違う法人が認定こども園を作ることになりますと、年少さんの制服が無駄になるということがありますが、その辺りはどうお考えですか。

(部長) 保育所では保育料を市が徴収しますが、上乗せ徴収や実費徴収というのは保護者の了解のもとに各施設が徴収することができます。今3歳児の子どもが5歳の時には、他の法人になるではないかということがありますが、ご心配されているということは法人に伝えます。

(市民) 今色々意見を聞いて、やはりまだ平成29年4月の開園を諦めるのは早いかなと思います。例えば、夢工房の設計で市が工事を進めつつ、運営事業者を探して間に合わない間だけ芦屋市が運営をするという前提で応募してくれる事業者を探すというのはどうですか。プランを引き継ぐという法人がなかなか現れないということでしたが、とりあえずそういった公募をしてみるといった手段はあり得ないのでしょうか。

(部長) 繰り返しになりますが、公立が行うということについて、できない約束を持ち帰ることはできませんので、これについては考えていないというのがお答えです。

それから、整備に対して国・県からの補助があります。現在は加速化プランとして進めていますので、かなり市にとって有利な補助体系となっています。そういったことから早く整備したいと考えています。国の補助を利用しながら私立を誘致するというのが市の考え方です。その中で、やはり夢工房の設計もまだ図面も完成しておらず、プランを引き継ぐというのは非常に難しいです。

(市民) 私は娘2人を浜風幼稚園に通わせていました。下の子が年少の時に廃園の話が出て、幼稚園をつぶさないでほしいということで活動してきました。残念なことに廃園になってしまい、それ自体非常に残念で悔しい思いがたくさんあります。それでも市が認定こども園を作るというのが決まり、私としても気持ちを入れ替えて応援しなければと思っておりました。ですので、今回のこの件は本当に残念です。廃園の時も、民間で何が不安かという点で、どういう特色の園が来られるのかというのが不安というのもありましたし、一番大きかったのは何か問題があった時に撤退されるのではないかとというのがとても不安でそういうことが無いかと何度も市の方に確認しました。市の方からはそういうことが無いよう業者を選びますので大丈夫ですとお答えをいただいていた。

ですので、今回このようなことになって私もニュースを見て驚いたので

すが、数日後に市へお電話した時も、中止する予定はないと言われました。それで安心していたら一転して辞退ということになり、何故第三者委員会の結果も出ていないのに辞退されるのか理由が分かりません。今日も説明会に夢工房の方が来られると思っていたのですが、夢工房からは「市から呼ばれていないから行きません。」と言われ、市の方からは「必要が無いと思ったので呼んでいません。」と言われました。やはり、認定こども園が初めて市と民間で作るということで市民としては強い連携を持って臨んでいただきたかったという思いがあるので、ここへ来て説明会に夢工房を呼ばず、これから先夢工房の計画が無くなって次の事業者を選んだ時にまた同じことが繰り返されるのではないかと不安がありますが、その点はいかがでしょうか。

- (部 長) 浜風幼稚園の廃園に至る経過、意見や想いを汲みつつ取り組んできたところでは。当時も色々なご批判がございましたし、今でもそのような思いを持っておられる方々のことも理解しています。その中で認定こども園について、色々な意見をいただきながらやってきたところですので、皆様と同じで非常に残念です。

しかし、認可は県が行いますので、県で認可されるか、されないかということが肝心です。認可されて平成29年4月に開園できるのかということ点です。当初はその点も含めて事務作業を行っていくという考えでしたが、その後、県から「現段階では保留にせざるを得ない。」という回答があり、協議を何度もしていく中で、これ以上市に迷惑を掛けられないということで夢工房が辞退されたということです。市にも結果責任がありますので、非常に残念な思いと皆様へも大変ご迷惑をお掛けしている点については責任を痛感しております。ただ申し訳ございませんが、それなら公立でということとは考えていません。

- (市 民) 私の子どもも浜風幼稚園を卒園させていただきました。色々な思いがある中での認定こども園ということで、私も心を入れ替えて地元で愛される施設であってほしい、マンションが建つ訳ではない、子どもに関連させた施設ができるのだと言いついて実現を待ちに待っていました。上の娘が夢工房にお世話になったという経緯がありますので、現場の先生方の一生懸命さというのは保護者として重々承知しておりますが、今回市としての責任において、これだけ意見が出ているにも関わらず公立ができない、一つもうんと言えない、そうした意見を持ち帰ることもできない、一体誰がそれを止めているのですか。どのような基準があって反対されているのか私たちには全く理解できません。先程から敷地面積の問題とか色々おっしゃっていますが、子どもの安全はもちろんです、市として責任を負う

とすれば、これができないのであればこういうことができます、市としてこういうことをやっていきたいですという意気込みが感じられません。平成30年の4月までお待ちください、その時に入りたい人がどうぞ入ってくださいというただそれだけです。それでは今開いている住民説明会の意味も無いですし、こうして集まっている方たちの意見を集約した意味は全く無いです。

どうして夢工房を選んだかという点についても色々調べてみましたが、選定委員会の結果を見たら委員の方は現場の点数よりもプレゼンを重視されています。夢工房を選んだ理由の一つに経済的余裕があるからという発言をされたと聞いています。ただ夢工房の会計開示を見て分析された方がいるのですが、同業で比較すると人件費は大体7割程度、それに対して夢工房は50%台、利益も平均を大きく上回っているということを東京の世田谷区の公立保育園を求める団体が、法人の不思議な急成長ぶりに目を付けて色々調べたそうです。現場の方は別として運営されているトップの体質がおかしいと見抜いた人がいたという経緯が過去に何件もあると聞いています。それを芦屋市は見抜けなかった。しかもこれからの公募では現場訪問無く選定していくと決められています、そのように変えた理由も私は分かりません。先生方の態度、経営者の方針、現場を見ずして書面だけでというのではいけないと思います。理由を教えてほしいのが一つです。

あと先程言いましたように、市の責任を重々感じているのであれば、住民の方、入所待ち児童の保護者の方は、やはり芦屋市が市の責任において十分ではなくてもこういう案を出してきたという意気込みを感じるだけでも安心するのです。反対を押し切って廃園した浜風幼稚園を、今でも根に持っている私たちのような人の気持ちを差し置いたまま、また認定こども園に入れない人たちを生んでいます。それを一つ一つ解決していかないと「教育のまち芦屋」と言っているのが恥ずかしいです。

教育に力を入れて色々なところで子どもたちに還元されていることも知っています。私の子どもは浜風小学校に元気に通わせていただいています。それは芦屋市がお金を出してきちんと市としての教育を整備してくださっているからだと思っています。ただ一方はしているけれどもう一方が疎かになってはいけません。しかも今回はこれだけの問題が起きたのですから、それに対するパワーをマイナスの分だけ上げてもらわないとこちらは納得できません。

ですので、質問としては、できないと言ったことを是非持ち帰って市の責任として代案を出していただけますかということ、選定するからには

現場重視で色々な資料を集める、色々な人から智恵をいただくといったことも大事だと思うので現場訪問を復活させてください。あともう1点、夢工房に解体作業費として5千万円支払われていると聞いています。そのお金を還していただく術はありますか。

(部長) まず、何故実地調査をやめたかといいますと、南芦屋浜の認定こども園を公募するにあたり、認定こども園を運営しているところだけ来てくださいということであれば、同一条件でということになりますが、より色々な形の良いところに来ていただきたいと思っておりますので、幼稚園を運営しているところでもいいし、保育所または認定こども園を運営しているところでもいいという形で実績として3年間運営しているところに来てくださいとしています。これは昨年度の公募も同じでした。ただ、昨年度は2次審査として、運営している園を見ました。確かに点数だけを見ますと1次と2次では違う趣きが出ているというのがありますが、いずれも各項目5割以上、総合7割以上を満たしておりますので、選考について問題は無いと考えています。

では何故今年度実地調査を行わないかということですが、論議はありましたが、昨年度の応募法人はたまたま同じような保育所なり認定こども園という実績がありましたが、幼稚園を運営していて今後認定こども園をやりたいという意欲がある法人が来られた場合に、現地を見に行っても見方が異なります。幼稚園であれば給食設備がありません。そこで見方を統一する方がいいのではないかとということがあり、選定委員会で審議いただき、ご了解いただいて実地調査はしないということになりました。ただし、審査の際に、質疑時間については重視させようという形で取組んでいるところです。

もう1点の解体費については、確かに浜風幼稚園の廃園に当たり、教育委員会からの申し送り事項の中で、出来るだけ施設を使ってほしいということ聞いておりましたが、やはり給食設備について大きな増築が必要となります。今後同様の形があれば全て新設なのかということについては分かりませんが、できるだけ子どもたちに良い環境で運営していただきたいということで、新設した方がいいだろうということになりました。選定委員の中からも他市でもこのような状況があり、幼稚園を認定こども園や保育所に改修する場合に給食設備を増築するとなると、どうしても動線の確保が困難なので、是非新設も検討の中に入れてほしいというご意見もありましたので、そのようにさせていただきました。方法としては、解体して更地にして募集するか、または既存建物を法人に解体させるかという2つの方法がありますが、費用の面、時間の面を総合的に考えた場合、法人に

解体をしてもらい一定の上限枠を設けて市の単独補助をするのが一番良  
いだろうということになりました。仮に、既存建物を使用しても、建替え  
にしてもいいという条件で募集して、夢工房が建替えたいと言ったのであ  
れば夢工房の発議ということになります。今回は募集段階で解体して建  
てるという条件でしたので、解体については市の意思どおりということに  
なります。

(市 民) 上限はいくらですか。

(部 長) 5千5百万円です。今回は予め公募段階で決定しており、解体とい  
うことについてきちんと実行したということになりますので、お気持ちは分か  
りますが、それを市が支払わないというのはどうかと考えます。

(市 民) 違約金として取ればいいのではないですか。

(部 長) 今は集中的にこのような説明会等の対応を行っていますので、違約金に  
ついては今後法制担当等と協議しながら詰めていきます。

それから、円滑化は可能な限り行っています。4月の段階で今年も行っ  
ております。本来できるだけやりたくないというのがありますが、やはり  
社会の変化の中で保育所を求められる方が増えております。市としまして  
も、整備について総力を挙げて行っていくということで小規模保育事業所  
の整備も行っています。小規模保育事業所の整備だけですと比較的早くで  
きるかもしれませんが、3歳以降の受皿をどうするかということも出てき  
ますので、バランスを見ながらやっていかななくてはいけないと思っていま  
す。お怒りはごもつとも大変申し訳ございませんが、公立という意見を  
持ち帰るというのはできないということしかお答えできません。

(市 民) 2次審査は戻さない、現場は見ないで決めるということですか。

(部 長) 現在は選定委員会です承を得て行っています。

(市 民) 意見があったことは伝えてください。

(部 長) 伝えます。

(市 民) 小規模保育で0-2歳児を整備するのであれば、3歳児保育を公立幼稚  
園の空き教室とするのはどうですか。精道も朝日ヶ丘も伊勢も潮見も空い  
ているのではないですか。

(部 長) 今の幼稚園を保育所として使用するという事は違うと思っております。  
3歳の幼稚園としての公立の受け入れというのは教育委員会の所管にな  
ります。

(市 民) 平成30年4月までに入りたい人たちの対応はどうするのですかと聞い  
ているのです。

(部 長) 幼稚園については考えていません。

(市 民) 考えていないではなくて考えてほしいです。その案は無理でも違う案を

出してくださいと言っているのです。担当部長として色々な方の話を集めて出来ることを何か一つでもいいから具体的に出してほしいです。

(部長) どのような形がいいのかということについては、考えていきます。

(市民) お願いと意見があります。まずお願いは、4点あります。1つは円滑化の問題です。私立保育園が120%、公立保育所が110%ということで確かに子どもの安全の問題とか我々が決めるべきことではないと思いますが、また働く保育士さんの同意も必要だと思いますが、今の緊急事態においては平成29年度に限って公立保育所の110%を私立保育園並みの120パーセントに上げてもらえないかということのを是非検討してください。また明日10時から説明会がありますよね。それには間に合わなくてもいいので真剣に協議をしてください。保育所で働いている方の意見も聞かなければならないので三井部長の一存では決められないと思いますが。

それから、平成29年4月1日オープンが一番良いですが、延びた場合に例えば平成29年7月1日に建物が完成したとすれば是非7月から保育園児も幼稚園児も受け入れをするという弾力的な考え方をお願いしたいと思います。それと幼稚園についても、私たち市民団体は公立幼稚園が定数割れしているので3歳児から受け入れてほしいという要求をまとめていますが、そこまで言いません。今回の夢工房の取り止めによる緊急事態において例えば全部とはいかなくても、近くの潮見幼稚園や伊勢幼稚園、宮川幼稚園等の公立幼稚園で臨時的に3歳児を受けて入れてもらう、そして預かり保育ということでパート勤務のお母さんであれば十分にやっていけると思います。これも市として役所として認められるか分かりませんが、臨時的なこととしては是非お願いしたいと思います。

そして最後に私も聞いていて何故かと思ったのですが、まず市立の建物を建ててしばらく公が運営し、事業者決定後に民間に委託するという提案がありましたが、伊丹市が市立でやっているところがあるのでやれると思うのですが、一步譲ってとにかく早く建物を建ててもらおうということで芦屋市が建てるのが一番早いと思います。それでお金がかかるというのであれば民間へ渡すということも是非考えていただきたいです。

最後に意見です。今回の夢工房の問題で選定のあり方について、調べたところ全国チェーン化している大型の認定こども園、ここも200人ですが、南芦屋浜も250人で、大阪の阪南市も620人ですよね。認定こども園がものすごく大型化しています。儲けを基準とした法人がいるということでそこを見極めなければなりません。芦屋市内に愛光幼稚園とかみどり幼稚園とか立派な幼稚園があって、市民に愛され信頼されて実績があり

ます。地元のそういうところを是非認定こども園にしてほしいと思います。資金力とか色々言われますが、子どもを愛するという法人に来てもらうのが一番大事だと思います。

(部長) 4点についてはお答えした方がいいですか。

(市民) 結構ですので、帰って役所の中で論議してください。

(市民) 私も今日皆さんのお話を聞いてやはり芦屋市で建物を建てていただくのが一番良いと思いました。解体して新しく建物を建てるということで公募されましたが、2法人しか応募が無かった、そして夢工房が中止になってそれからまた新しく同じ基準で公募をされても結果は同じではないのかなと思います。新しく応募されて来られるところが果たしてあるのか、あの時も確か4、5法人くらい見学に来られていたと思うのですが、それでも2法人しか応募が無かったということで同じ基準でされても応募が増えるとはとても思えません。そこでお金はかかってしまいますが、芦屋市で建物を建てていただければ事業主としては建てるお金が要らないわけですから、素人考えですが、もう少し応募が来るのではないかと思いますので検討してください。あとは廃園の時に入所待ち児童が山手圏域と精道圏域にすごく多いことがあって、早く精道と山手で整備してください、必要とされているところに早く整備してくださいと何度もお願いしました。あれから3年以上経っていますが、なかなか新しいところが建たないということがとても残念に思います。以上です。

(市民) 皆さんの意見を聞きまして、浜風幼稚園を廃園する時に芦屋市に何度も大丈夫ですかと確認して大丈夫ですというお返事があったことについて、やはり市にも責任があると感じました。また新しい業者さんが応募してくれるのかということがとても不安に思いましたし、もし第三者委員会の調査の結果、夢工房に何も問題が無かった場合、また夢工房にお願いすることはできないでしょうか。現場の先生たちはとても子どものことをよく見てくれて、保護者、子ども、先生みんなでとても良い関わりをしていていますし、それも視野に入れていただければと思います。

(司会) 他にご質問はございますか。

それではたくさんのご意見ご質問ありがとうございました。本日は遅くまでご参加いただきありがとうございました。これを持ちまして説明会を閉会したいと思います。